

THINKWARETM DASH CAM

X500

ユーザーマニュアル



本ドライブレコーダー（ダッシュカム）は運転中の状況を続して録画できる、オンボードデバイスです。

本機はすべての事故の記録を保証するものではありません。



この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

目次

	シンクウェアドライブレコーダー™ X500のご利用前に 安全にお使いいただくために	2 3
01	はじめに	
	1-1. 構成部品	5
	1-2. オプションアクセサリ	5
	1-3. 製品の概要	6
	1-4. メモリーカードの挿入	7
	1-5. 車両への設置	8
02	基本操作	
	2-1. 電源のOn/Off	10
	2-2. 路上安全警告	11
	2-3. 記録ファイル	13
	2-4. 運転中のビデオ録画	14
	2-5. パーキング中のビデオ録画(オプションアクセサリ)	16
	2-6. 手動記録	17
	2-7. MicroSDカードのフォーマット	18
	2-8. ファームウェアのアップグレード	18
03	LCD 画面	
	3-1. メインメニュー	19
	3-2. ライブビュー	20
	3-3. ファイルリスト	21
	3-4. メモリーカードの設定	23
	3-5. Dual Saveビデオ	24
	3-6. 設定 > カメラの設定	25
	3-7. 設定 > 録画の設定	26
	3-8. 設定 > 路上安全設定	27
	3-9. 設定 > システム設定	28
	3-10. デバイスについて	29
04	PCビューアーソフトウェア	
	4-1. シンクウェアダッシュカムPCビューアー	30
05	デバイス情報	
	5-1. 仕様書	35

シンクウェアドライブレコーダー™ X500のご利用前に

- ▶ 著作権法により、本ユーザーマニュアルは、シンクウェアの書面による同意なく一部または全体を複製することはできません。
- ▶ シンクウェアは、事前の予告なく本ユーザーマニュアルの内容および製品を変更または修正することがあります。
- ▶ 本ユーザーマニュアルのイメージは、説明を目的とするイラストであり、実際の製品とは異なる場合があります。
- ▶ ユーザーは、本ユーザーマニュアルに規定された目的以外に、本製品を使用する権利を有しません。個人情報保護法および他の関連する法律に従い、本機により記録されたビデオおよび会話が同意なく流通した場合、本ユーザーおよび所有者は法的責任を負うものとします。

- MicroSD メモリーは、定期的にエラーのチェックをする必要があります、また、メモリーカードは消耗品であるため、定期的に交換する必要があります。
- シンクウェアは、誤用や修正、純正品ではない部品およびアクセサリーの使用から生じる問題に対する損害に責任を負いません。
- 本機および録画したビデオは、個人的なご利用を目的とし、録画されたビデオは参考記録としてのみご利用ください。
- 内蔵の衝撃センサーは衝突時の衝撃レベル、ユーザー設定の組み合わせによりアクティブ化されないことがあるため、本機はすべての事故のビデオ録画を保証するものではありません。

安全にお使いいただくために

- ◆ 本機はDC12VおよびDC24V マイナスアース車専用です。12V・24V車以外では故障の原因となりますので絶対に取り付けしないでください。
- ◆ フロントガラスへの取り付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。フロントガラス上部より20%以内になるように設置してください。
※ 道路運送車両の保安基準第29条（窓ガラス）、細目告示第195条および別添37
- ◆ ドライブレコーダー本体が運転者の視界の妨げにならないように取り付けを行なってください。その際ミラーと干渉しない位置に取り付けしてください。
- ◆ ワイパーの可動範囲に取付けることをお勧めします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- ◆ 本製品を車検シールの上に貼らないでください。
- ◆ 地デジやETC等のアンテナ近くには設置しないでください。
- ◆ 本製品の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- ◆ 本体カメラ側に遮蔽物があるとGPS衛星からの電波が受信できなくなります。取り付け位置には十分注意してください。
- ◆ 衝突軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けを行ってください。
- ◆ 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてから作業を行ってください。ショートによる感電やけがの原因となります。
- ◆ コード類は、運転操作の妨げとならないよう、付属のケーブルホルダーやテープ等で確実に固定してください。運転の妨げ等により事故の原因となります。
- ◆ 本機および電源コードを分解したり、改造は絶対にしないでください。事故、故障の原因となります。
- ◆ 本機の電源が入らないなど、故障状態と思われる状態で使用しないでください。
- ◆ ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。間違ったヒューズを使用すると火災の原因となります。
- ◆ 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ◆ エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機取り付けをしないでください。エアバッグシステムが正常に動作できず、怪我の原因となります。
- ◆ 運転者は走行中にSDメモリーカードの抜き差しやスイッチ操作をしないでください。事故の原因となります。また、本機を操作する際は必ず安全な場所に車を停車させてから操作を行ってください。
- ◆ 付属のシガーライタープラグがシガーライターソケットの形状に合わない場合は、無理に使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- ◆ 機器内部に水や異物を入れないでください。故障の原因となります。
- ◆ 本機の取付・配線は、必ず付属の部品を指定通り使用してください。また、取り付け方法がわからない場合等は、安全のため必ずお買い上げの販売店にて取り付けを行ってください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- ◆ コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被膜が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- ◆ 本機取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- ◆ 本機を車載専用です。車載用途以外での使用はおやめください。故障や怪我の原因となることがあります。
- ◆ しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。衝撃を正しく検知できず、誤って作動したり、衝撃があっても動作しないことがあります。

- ◆ 本機に、強い力やショックを与えることや、落下させるようなことは絶対におやめください。故障の原因となります。
- ◆ シガーライタープラグを抜くときは、プラグ部を持って抜いてください。コードが破損し、火災、感電の原因となることがあります。
- ◆ 濡れた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となることがあります。
- ◆ 雨が吹きこむところなど水のかかるところや、湿気、埃、油煙の多いところへ取り付けないでください。本機に水や結露(エアコンホース周囲など)、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- ◆ ダッシュボード上など直射日光が当たり続けるところへ取り付けないでください。本機が高温となり、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- ◆ 両面テープで取り付ける場合は、取り付け場所の汚れをきれいに拭き取ってから取り付けを行ってください。
- ◆ カード挿入口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。
- ◆ 本機は衝撃を検知して映像を記録する機能を有しますが、すべての状況において映像を記録することを保証するものではありません。本体の取り付け状況や衝撃の強さなどにより、衝撃がうまく検知できず映像書き弄されないことがあります。
- ◆ 衝撃を感じても映像が記録されなかった場合や記録された映像データが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。
- ◆ 本機は、事故の検証に役立つことも目的とした製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- ◆ 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。これらの場合について、弊社は一切責任を負いません。
- ◆ LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影するタイミングにより信号が点滅して撮影される場合や、一時的に消えてしまったように撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件につきまして、弊社は一切責任を負いません。

1. はじめに

本ユニットは、周辺機器のシールドケーブルを用いてテストしました。
品質を確保するため、ユニットにはシールドケーブルを使用してください。

1-1. 構成部品



メインドライブレコー
ダーユニット



3Mテープ付きマウント
(1個)



電源ケーブル
(シガーソケット)



接着ケーブルホルダー
(5個)



アダプタ付きMicroSD
メモリーカード
(消耗品)



USB MicroSDカードリーダー



クイックスタートガイド/保証書/
ユーザーマニュアル
(MicroSDカードに保存)

1-2. オプションアクセサリ

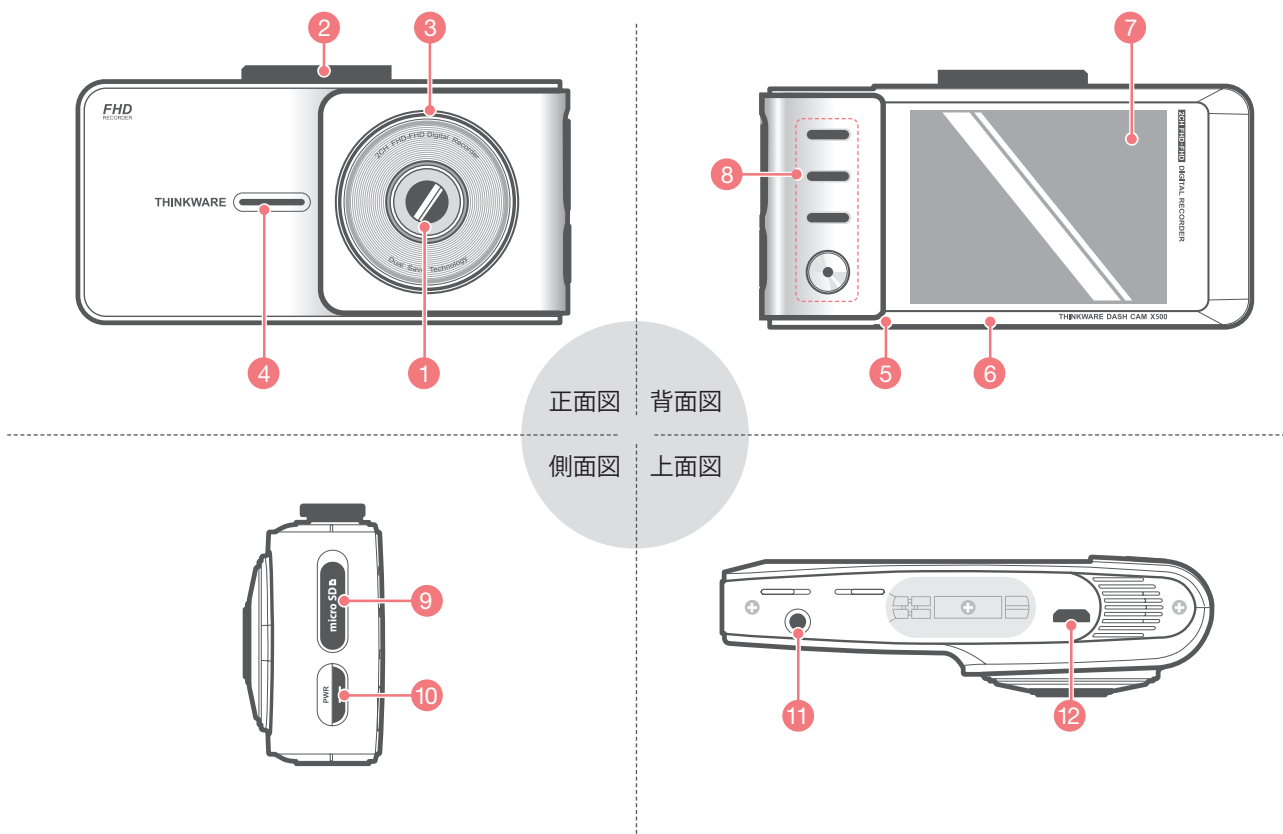


電源直接接続ケーブル



リアビューカメラ

1-3. 製品の概要



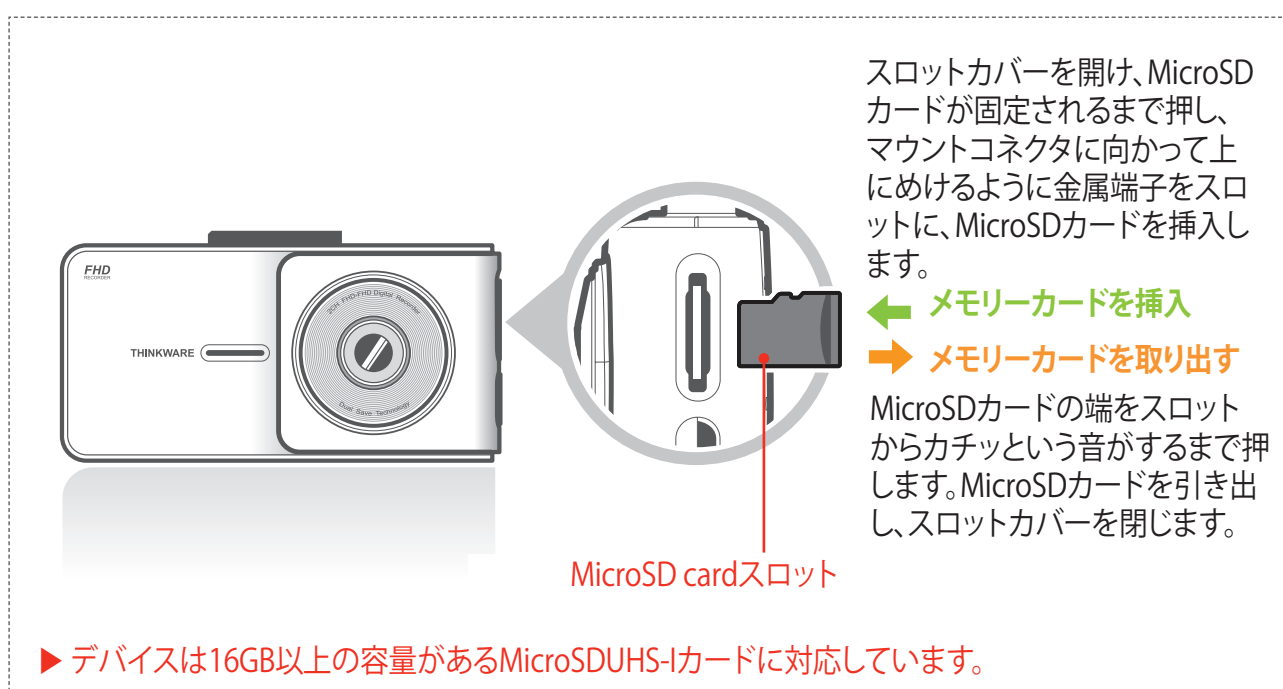
No.	名前	説明
1	カメラレンズ	ビデオ録画のために、カメラを正面に向ける。
2	マウントコネクタ	フロントガラスのマウントに接続する。
3	セキュリティLED	車両に備え付けられたダッシュカムが稼働中であることを視覚的に示すLEDライト
4	スピーカー	警告/通知音と音声ガイダンス用
5	リセットボタン	本機を強制的にリセットさせる場合に押す
6	マイク	音声を記録するためのマイク
7	LCD画面	ライブビュー、ビデオの再生、ダッシュカムの構成へのアクセスを提供
8	コントロールボタン	画面のユーザーメニューから操作するコントロールボタン
9	メモリーカードスロット	メモリーカードの場所
10	電源  ボタン	ON/OFFするには、3秒間押す。
11	DC-INコネクタ	電源ケーブルを接続する端子
12	V-INコネクタ	リアビューカメラに接続(リアビューカメラは別売り)

1-4. メモリーカードの挿入

1-4-1. メモリーカードについて

- ▶ 本製品に使用するMicroSDカードは、UHS規格対応の16GB、32GB、64GBの記録容量のものをご使用ください。少なくとも16GBのメモリーカードをご使用いただくことを推奨します。
- ▶ MicroSDカードは、メモリーカードの寿命を長持ちさせるために、2週間ごとに初期化してください。

1-4-2. MicroSDカードを挿入する



MicroSDカードとカードスロットを損傷させるおそれがあるため、MicroSDカードに過度な力を与えたり、違う方向に挿入しないでください。

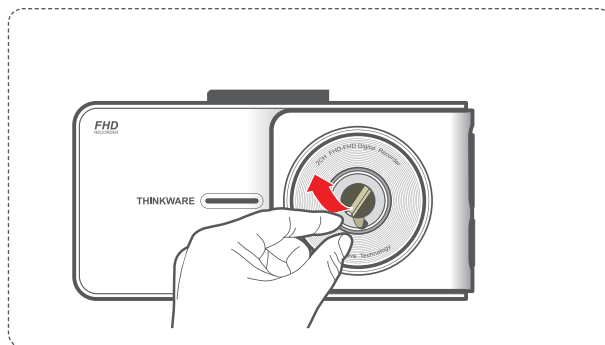
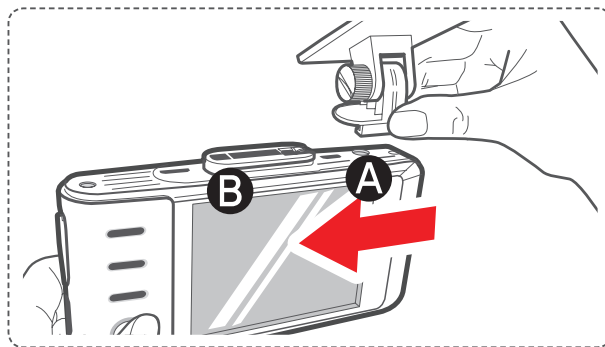
注意

- メモリーカードは消耗品であり、定期的に交換する必要がありますので、MicroSDカードは、定期的にエラーのチェックをしてください。
- 純正品または正規部品あるいはアクセサリをご使用にならないことにより発生する問題および損害にシンクウェアは責任を負いません。メモリーカードのエラーを最低限にするためにシンクウェアのメモリーカードのご使用を推奨します。
- メモリーカードへのダメージを避けるため、MicroSDカードを取り出す前に本機の電源が完全にオフであることを確認してください。
- 重要なデータの損失を防ぐために、MicroSDカードから録画したビデオをパソコンや他の記憶デバイスに頻繁にコピーしてバックアップしてください。

1-5. 車両への設置

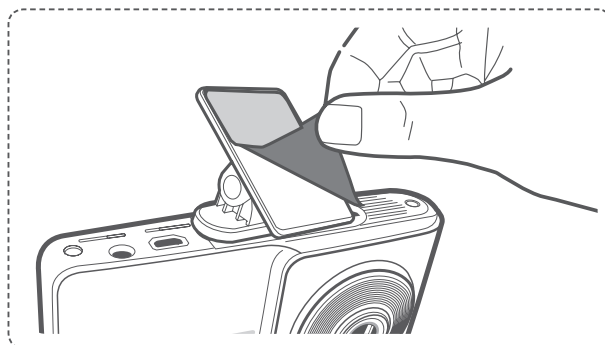
1-5-1. 本体とマウントの接続

- ① コネクタ (A)とマウントを水平にし、カチッという音がするまで (B) の方に押し込みます。
- ② カメラレンズの保護フィルムを剥がします。



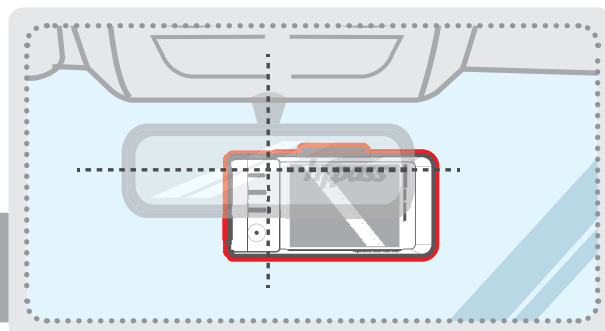
1-5-2. ドライブレコーダーの設置

- ① ドライブレコーダーが設置されるフロントカメラを拭きます。
- ② ドライブレコーダーを取り付ける前にマウントの裏側の保護テープを剥がします。
- ③ フロントガラスにマウントの接着部分を取り付けます。フロントガラスの及びドライバーの視界を妨げない位置に取り付けます。



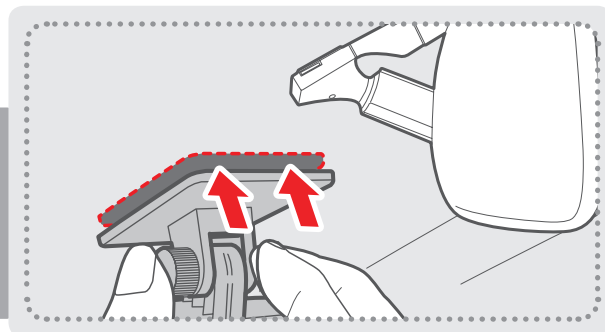
ヒント

カメラはメインユニットの左側についているので、バックミラー後ろ側の中央右にドライブレコーダーを設置します。



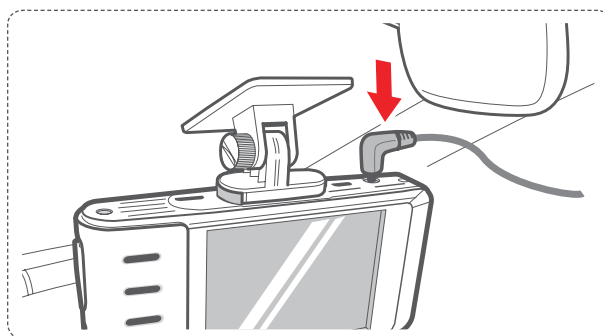
ヒント

安全かつ確実に取り付けるために本機を取り外し、5分間マウントをフロントガラスの方へ強く押し付けます。マウントが完全に付着するには24時間要します。マウントが完全に付着したことを確認してからドライブレコーダーを取り付けてください。

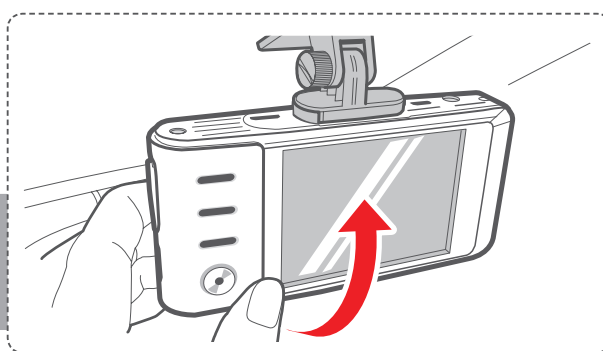


1-5-3. 電源に接続

- ① 本機のDC-IN ソケット に電源ケーブルを接続します。
- ② 電源ケーブルをシガーソケットに差し込みます。
- ③ 必要に応じて、着ケーブルホルダーを使用して電源接続ケーブルを車体に固定します。

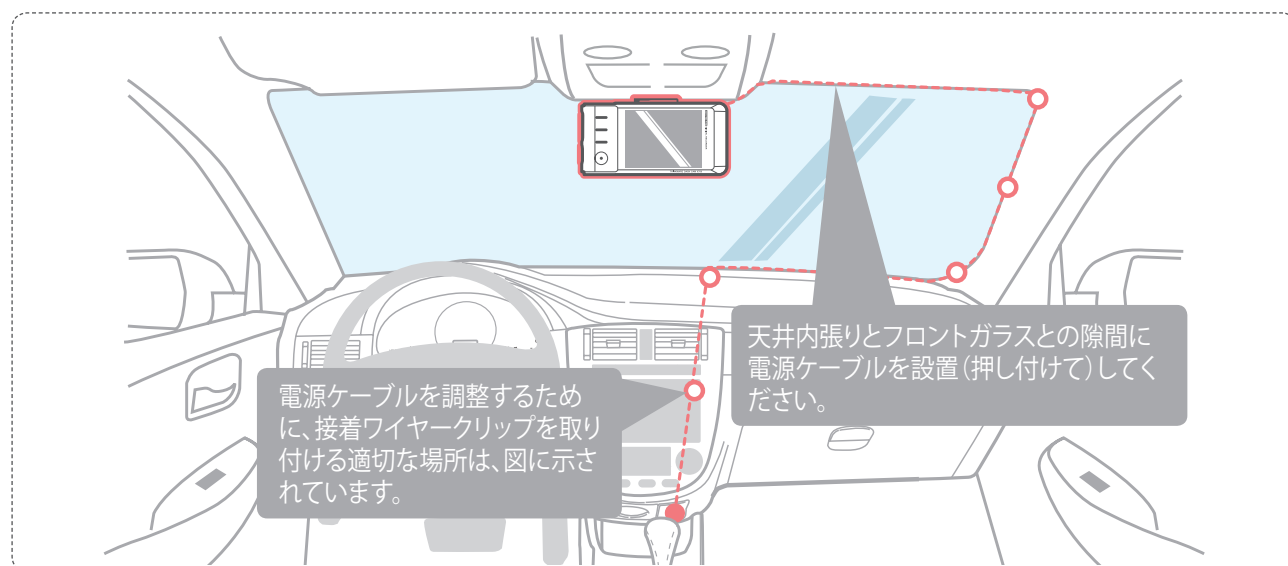


- ④ カメラが前方を向き、ドライブレコーダーが車両と道路と水平になるように調整します。



ヒント

インストールの後、ドライブレコーダーをオンにし、カメラの角度を調整するため、LCD画面のライブビューを使用してください。



電源ケーブルの説明の詳細については、シンクウェアのホームページをご覧ください。
(www.thinkware.com)

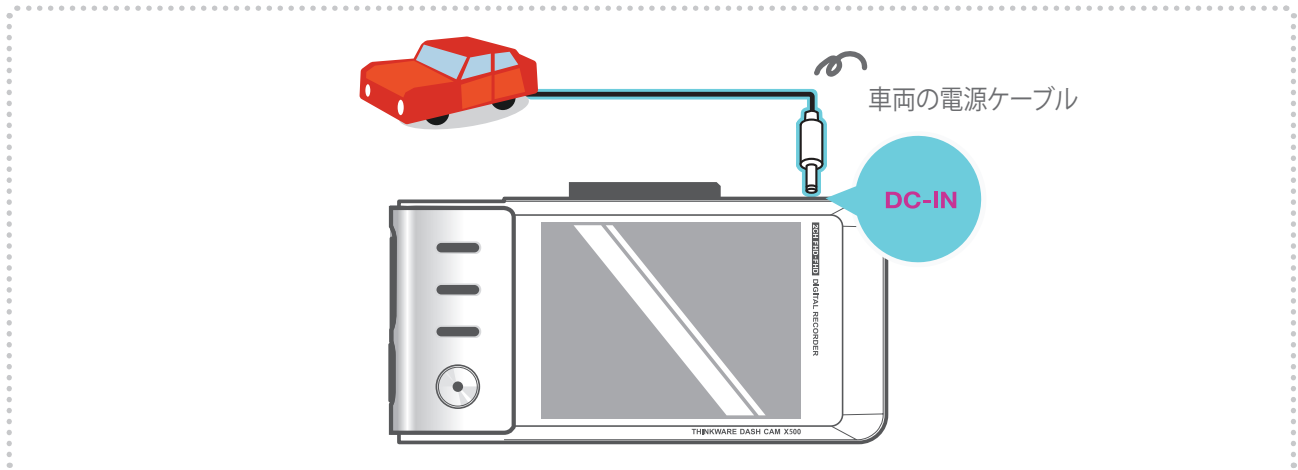
車両バッテリー放電防御

- 車両のメーカーとモデルによりエンジン始動キーがOFFまたは、スタートボタンがOFFになっていてもドライブレコーダーに供給されます。これは、車両のバッテリーの性能を低下させるおそれがあります。
- 車両には、点火装置がある電源をオフにしない少なくとも1つのコンセントが、複数の電源ソケットがある複数の車両に備わっていることがあります。車両の電源コンセントをテストしてください。

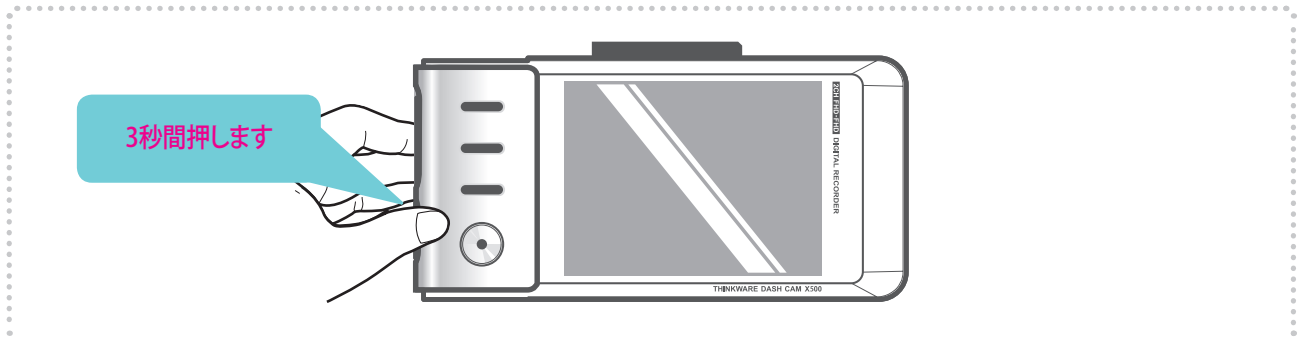
2. 基本操作

2-1. 電源のOn/Off

- ▶ 車両に接続すると、本機は車両の電源状態に連動し、自動的に電源オン/オフになります。



- ▶ 本機のオン/オフを自動的にするため、電源ボタンを (⏻) 3秒間押します。



2-2. 路上安全警告

2-2-1. 先進運転支援システム (ADAS)

▶ ADAS 自動調整

1. ADASは、使用前に設定する必要があります。
2. 自動調整は、1分以上の間30km/h(18mph)以上のスピードで直線道路を走行するとき、開始されます。

ボンネットの真中に青色の線を合わせる。

ボンネットの先端と緑色の線を合わせる。



▶ 車線逸脱警報システム (LDWS)

車線逸脱警告は、車線から車両が逸脱するとき、ドライバーに警告します。LDWSは、50km/h (30mph)以上の速度で走行しているとき、有効化されます。

* デフォルト設定: 80km/h (約50mph)

- ① LDWSの機能を「LCDメニュー > 設定 > 路上安全設定 > LDWS」から有効にします。
- ② LDWSの設定を「LCDメニュー > 設定 > 路上安全設定 > 左/右LDWS感度」から構成します。

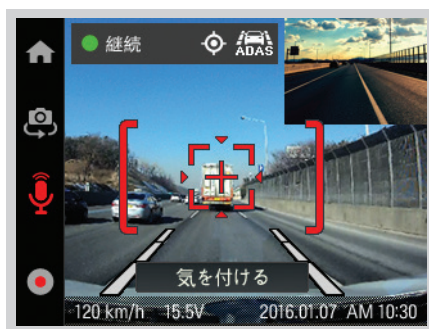


▶ 前方衝突警告システム (FCWS)

前方衝突警告は、先行車に急接近しているとき、ドライバーに警告します。FCWSは、30km/h (18mph) 以上のスピードで走行しているときのみ有効化されます。



<第1段階の最初の FCWS 警告>



<最初の警告の後、車両が先行車に近づいているとき、第2段階の FCWS 警告>

- ① FCWSの機能を「LCDメニュー > 設定 > 路上安全設定 > FCWS」から有効にします。
- ② FCWSを「LCDメニュー > 設定 > 路上安全設定 > FCWS感度」から設定します。

▶ 前方車両発進警報 (FVDW)

前方車両発進警報は、前方車両が、完全な停止状態から発進するときに、ドライバーに警告します。

└ FVDW通知は、4秒以上完全に停止した場合のみ、動作します。



① FVDW機能を「LCDメニュー＞設定＞路上安全設定＞FVDW」から有効にします。

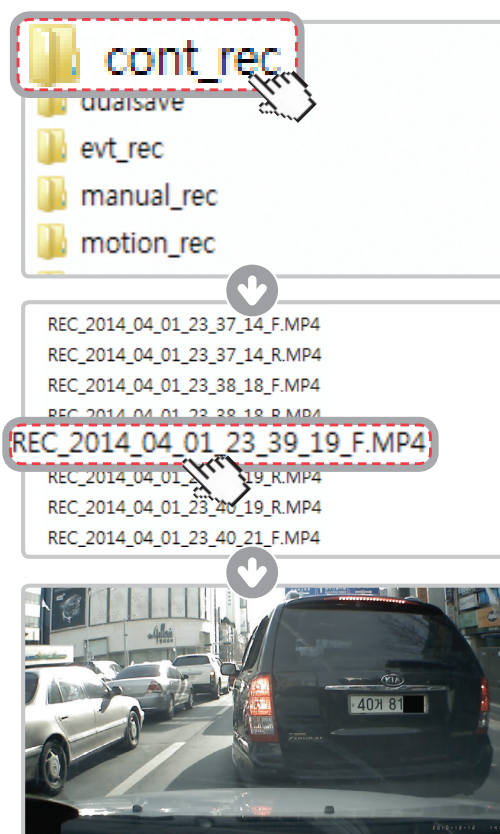
注意

- 夜間の運転、トンネル、豪雨、吹雪、路面条件によっては、ADAS機能が正常に動作しない場合があります。

2-3. 記録ファイル

▶ 記録ビデオファイルは、MicroSDカードに日付と時間別でフォルダに保存されています。

└ ビデオが録画されている場合に、ファイルが作成されます。



└ ループ記録の監視製品として、ドライブレコーダーはメモリーの容量がなくなると、メモリーカードの最も古いファイルから自動的に上書きされます。しかし、事故録画と手動録画ビデオは別の場所に別途保存され、ファイルの上書きから保護されています。

注意

- 外部保存デバイスとして、MicroSDカードを使用しないでください。
- MicroSDカード内のシステムファイルを改ざんしないでください。
これにより、故障の原因となります。

2-4. 運転中のビデオ録画

2-4-1. 連続録画モード

- ▶ ビデオは1分単位で録画され、「cont_rec」フォルダの下のMicroSDカードにファイルとして保存されます。



2-4-2. 連続録画モード中のインシデント録画

- ▶ ダッシュカムが衝撃を検知したとき、衝撃の10秒前と10秒後を自動的に保存します。
- ▶ 20秒のインパクト記録は、「evt_rec」フォルダの下のMicroSDカードに保存されます。
ダッシュカムは、衝撃レベルがユーザー設定されたG-センサーの感度より大きい場合にのみ、インシデントとして衝撃を検知することに注意してください。



注意

- 道路の凹凸、マンホールまたは平らではない道路を高速で走行した場合、検知され、インシデント録画を作動することがあります。
- 本機は、連続する衝撃または複数の事故の場合、インシデント録画を1分まで記録できます。
- 録画できるインシデント映像の長さは、設定により異なります。

2-4-3. Dual Save™ (内部メモリーのバックアップ)

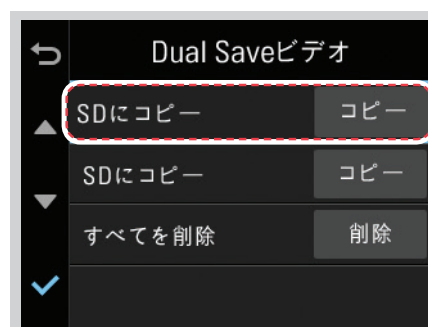
▶ Dual Saveは、MicroSDメモリーカードに加えて、セキュアなバックアップとして、内蔵メモリーを利用したシンクウェア特有の技術です。Dual Save技術は、MicroSDメモリーカードに損傷を与える事故の場合、内部メモリーを利用して、インシデントビデオ録画を保存します。

- └ 事故発生時にMicroSDメモリーカードへのインシデントビデオファイルの保存に加え、MicroSDメモリーカードまたはメインユニットに損傷により、外部メモリーのインシデント録画を保存できなくなったときに、内蔵メモリーの上にもう1つのバックアップコピーを保存します。
- └ Dual Saveがアクティブ化されているとき、衝撃前の4秒間を自動的に保存し、次の2秒間ビデオ録画し、計6秒のビデオクリップを記録します。

└ Dual Saveビデオファイルを見る：Dual Save技術により内部バックアップメモリーに記録されたビデオは「Dual Saveビデオ > ビデオ」にあるリストから見るができます。



└ Dual Saveビデオファイルをコピーする：Dual Save技術により内部バックアップメモリーに記録されたビデオは「Dual Saveビデオ > SDにコピー」にあるコピーメニューを利用し、MicroSDメモリーカードにコピーできます。MicroSDメモリーカードが挿入されていることを確認してください。



注意

- Dual Save 技術は、内部メモリーのバックアップをより安全なものにするため、録画したビデオのコピーを保存します。
- 道路の凹凸、マンホール、または平らではない道路を高速で走行した場合、インシデントと検知することがあります。

2-5. パーキング中のビデオ録画（オプションアクセサリー）

本機能は、ダッシュカムが車両のバッテリーに直接配線で接続されているときのみご利用いただけます。配線ケーブルアクセサリーは別途ご購入していただき、設置していただく必要があります。

2-5-1. インシデント録画

- ▶ ダッシュカムがパーキング中に衝撃を検知したとき、衝撃の10秒前と10秒後を即座に保存します。
 - 20秒衝撃検知録画は、「parking_rec」フォルダの下のMicroSDメモリーカードに保存されます。



2-5-2. モーション検知録画

ドライブレコーダーおよびオプションのリアビューカメラには、車両がパーキング中に何らかの動き（モーション）を検知するとビデオ録画を開始するモーション検知器を装備しています。

- ▶ ダッシュカムがパーキング中にモーションを検知したとき、10秒間ビデオ録画し、検知前10秒間を直ちに保存します。
 - 20秒の運動検知記録は、「motion_rec」フォルダの下のMicroSDメモリーカードに保存されます。

注意

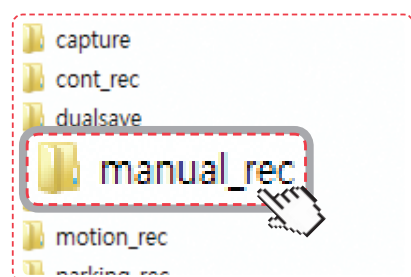
- 本機は、連続する衝撃または複数の事故の場合、インシデント記録は最大1分まで記録されます。

2-6. 手動記録

事故の記録に加え、ドライブレコーダーは運転中のセキュリティや場所をキャプチャーするために、ユーザーが手動録画モードを開始することができます。この機能は、車両が直接事故に関わっていない場所の目撃者として、ビデオを保存することにも利用できます。手動モード中に保存されたビデオファイルは、メモリーカードの別の場所に保存され、連続記録モードに上書きするビデオから保護します。

- ▶ 本機は、ボタンが押されたときから1分間（事故前10秒、事故後50秒）ビデオを録画します。録画されたビデオは、「manual_rec」フォルダの下に保存されます。

手動録画を開始したとき、ボタンを押す前の10秒間保存されるため、一瞬を逃しても、事故の10秒以内に手動ビデオを開始することでビデオを安全に捉え、保存できます。

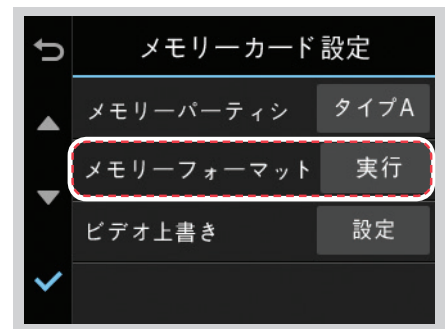


注意

- 手動録画ビデオの保存に割り当てられた保存場所の容量がなくなると、最も古いビデオファイルが新たに記録されたビデオで上書きされます。

2-7. MicroSDカードのフォーマット

- ▶ 「Memカード設定 > メモリー フォーマット」にある「メモリーカードフォーマット」を選択します。



注意

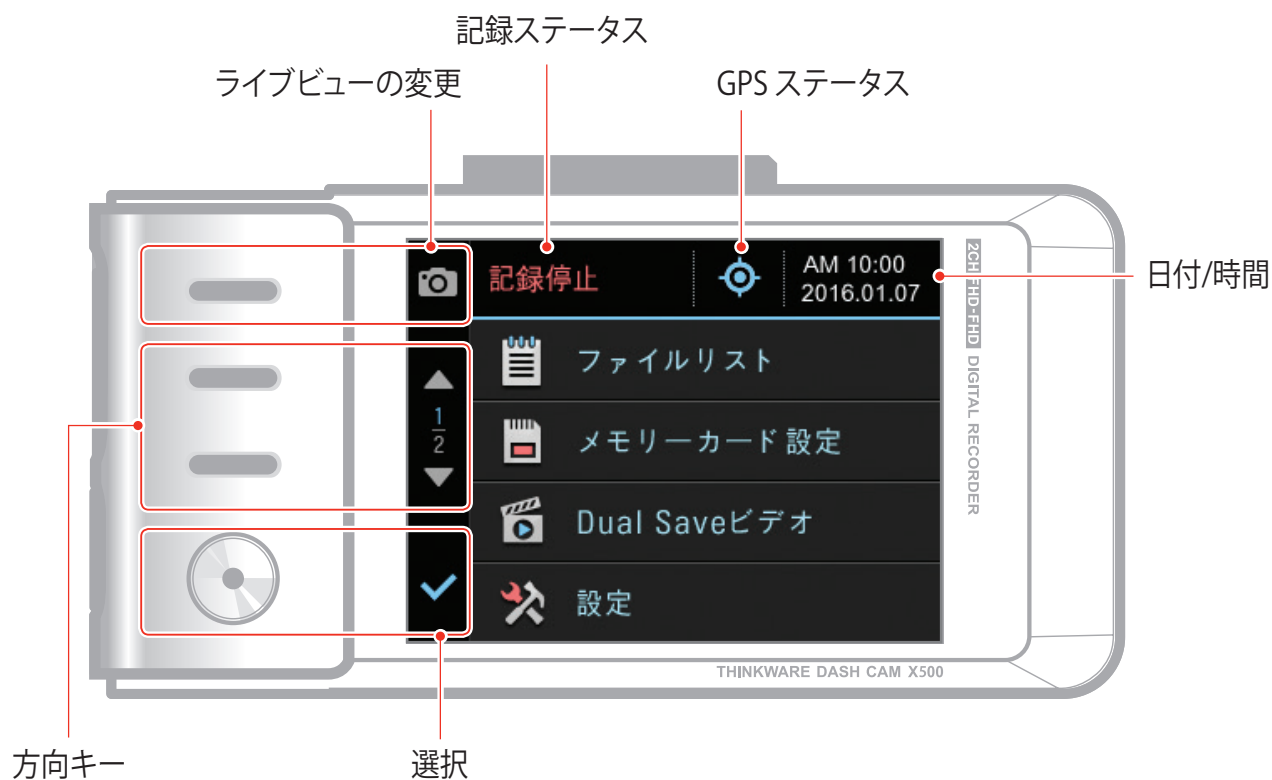
- MicroSDカードは、メモリーカードの寿命を長持ちさせるため、2週間ごとにフォーマットすることを推奨します。

2-8. ファームウェアのアップグレード

- ▶ MicroSDカードにファームウェアのアップグレードファイルが含まれている場合、システムは自動的にアップデートされます。
 - └ アップグレードが完了すると、自動的にリセットします。
- ▶ 本機を常に最新のファームウェアの状態にしてください。最新ファームウェアのアップデートを、シンクウェアのウェブサイト(www.thinkware.com)にてご確認ください。

3. LCD 画面

3-1. メインメニュー



3-2. ライブビュー

LCD画面は、現在の録画ビューを確認するために使用されます。



3-3. ファイルリスト

ビデオリストや設定メニューを開覧するとき、録画は停止します。視覚的な通知は、メニューに進入する前に録画停止を確認する画面が表示されます。

3-3-1. ファイルリスト -1



- ▶ **常時録画** : 常時モードのループ録画ビデオリストを表示します。(1分単位)
- ▶ **常時モードのインシデント** : 常時モードのインシデント録画ビデオリストを表示します。
- ▶ **モーション検知** : パーキング監視モードのモーション検知録画リストを表示します。
- ▶ **パーキングインシデント** : パーキング監視モードのインシデント録画ビデオリストを表示します。
- ▶ **手動録画** : 手動録画ボタンを選択して開始される手動録画ビデオを ● リストを表示します。

注意

- 構成された保存容量は、約 30BM から 40MBであり、実際の容量とは異なる場合があります。

3-3-2. ファイルリスト -2



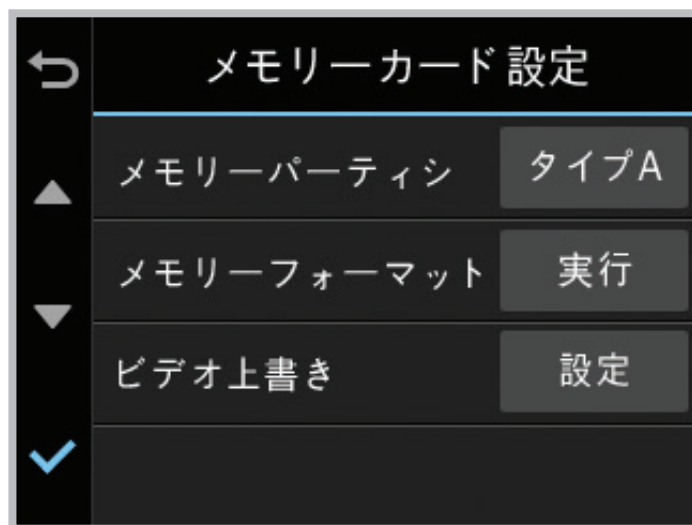
アクセスすると停止します。



3倍ズームのビデオ再生



3-4. メモリーカードの設定



- ▶ **メモリーパーティション**: メモリーカードの保存空間を各記録モードにどのように割り当てるかを設定します。
 - ↳ タイプA(推奨): 連続録画の最適化
 - ↳ タイプB: パーキング監視のインシデントおよびモーション検知の最適化
 - ↳ タイプC: 連続モードインシデント録画の最適化
- ▶ **メモリーフォーマット**: MicroSDカードのフォーマット
 - ↳ フォーマットは、メモリーカードに保管されたビデオファイルすべてを完全に消去します。
- ▶ **ビデオの上書き**: 各モードに保存された最も古いビデオに、新しいビデオが上書きすることを許可する、上書きオプションの設定

注意

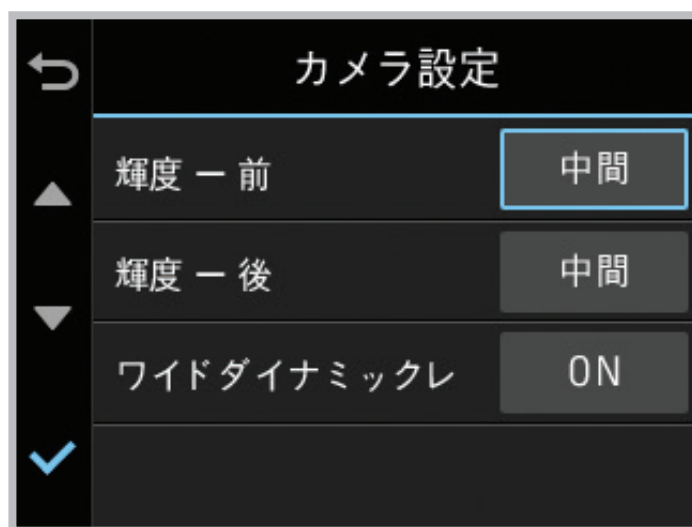
- メモリーカードのフォーマットの前に、データをバックアップすることを推奨します。
- メモリーカードをフォーマットすると、すべてのデータは削除され、復元できません。
- MicroSDカードの初期化の方法は、コンピュータのオペレーションシステムにより異なる場合があります。

3-5. Dual Save ビデオ



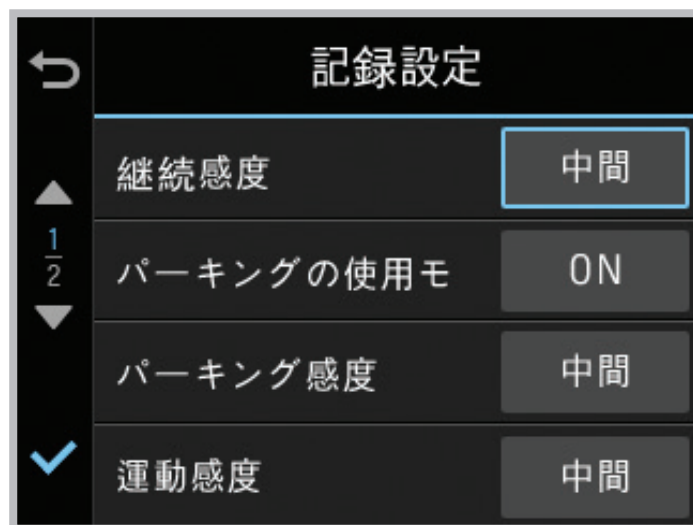
- ▶ **ビデオ** : Dual Saveビデオリストを見る
- ▶ **SDにコピーする** : 内部メモリーに保存したすべてのビデオを、MicroSDカードにコピーします。
- ▶ **すべて削除** : 内部メモリーに保存していたすべてのビデオを削除します。

3-6. 設定 > カメラの設定



- ▶ **明るさ-F/R**: フロント/リアカメラのビデオ録画する際の画面の明るさの設定
- ▶ **ワイドダイナミックレンジ**: 逆光等の環境下でもクリアな映像を録画するため、ワイドダイナミックレンジモードを設定します。

3-7. 設定 > 録画の設定



- ▶ **衝撃感度**: 衝撃感度レベルの設定
- ▶ **パーキングモードの使用**: 車両のエンジンが停止したとき、パーキングモードに自動的に切り替えるために、車両点火装置ステータスを監視します。
- ▶ **パーキングセキュリティ**: パーキング録画モードの衝撃感度を設定します。
- ▶ **モーション検知感度**: パーキング録画モードのモーション検知感度を設定します。
- ▶ **タイマーオフ**: 車両バッテリーを放電から保護するため、パーキングモードのとき自動的に電源をオフにするドライブレコーダーのタイマーを設定します。
- ▶ **電圧オフ**: 車両バッテリーを放電から保護するために、自動的に電源をオフにする電源レベルを設定します。

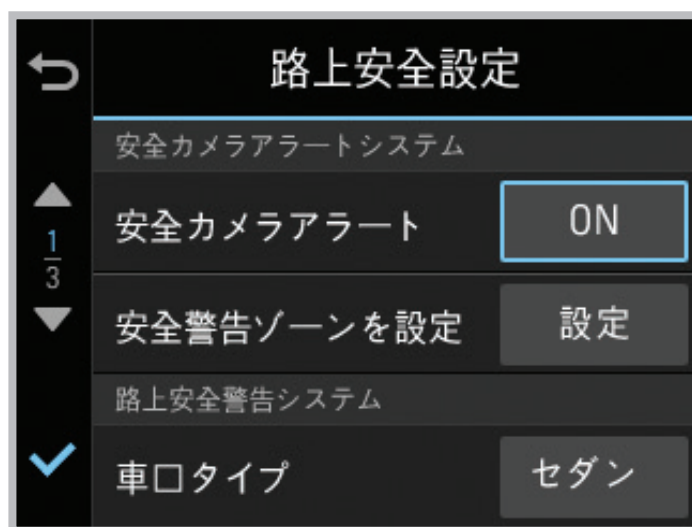
注意

○ 感度に関するヒント

車両タイプに合わせて感度を設定することを推奨します。高感度設定は、高級セダンのような柔らかな乗り心地の車両に推奨します。低感度設定は、ハードな停止設定を持つ高性能車、トラック、SUVのような車に推奨します。

- 設定を変更する場合は、メモリーカードの設定を初期化することを推奨します。
- メモリーカードの初期化の前に、重要なビデオファイルをバックアップしてください。

3-8. 設定 > 路上安全設定



▶ 路上安全警告システム

└ 路上安全設定：路上安全警告のために、聴覚的な通知を設定します。

※ 本機能は日本では、使用できません。

▶ 先進運転支援システム (ADAS)

└ 車両タイプ：先進運転支援システム(ADAS)機能を最適化するために、車両の種類を設定します。

└ ADAS 設定：ADAS機能の調整設定

└ LDWS (車線逸脱警告)：LDWSドライバーアシスタント通知を設定します。

└ LDWSを初期化：LDWS設定を初期化

└ 左のLDWS感度：左車線の逸脱検知感度を設定します。(感度を「高い」に設定することを推奨します)

└ 右のLDWS感度：右車線の逸脱検知感度を設定します。(感度を「高い」に設定することを推奨します)

LDWS 速度：LDWS通知が有効となる速度を設定します。

└ 前方衝突警報システム (FCWS)：ドライバーアシスタント通知を設定します。

└ FCWS 感度：前方衝突検知感度を設定します。

└ 前方車両発進警報：前方車両が完全な停止状態から発進するときのドライバーへの警告の通知を設定します。

3-9. 設定 ＞ システム設定



- ▶ **言語**: ダッシュカムシステム言語を設定します。
- ▶ **音声ボリューム**: ボリュームレベルを設定します。
- ▶ **LCDの明るさ**: LCD画面の明るさを設定します。
- ▶ **LCD自動オフ**: LCD自動オフの時間を設定します。
 - ↳ LCDがオフのとき、どのボタンでも押すと、LCD画面がオンに戻ります。
- ▶ **セキュリティLED**: セキュリティLEDのパターンを設定します。
- ▶ **時間帯**: 時間帯を設定します。
- ▶ **サマータイム調整(DST)**: サマータイムの調整を設定します。
- ▶ **速度単位**: 車両速度の単位を設定します。

3-10. デバイスについて



- ▶ **機能**: デバイス機能のヘルプ
- ▶ **デバイス情報**: デバイスとファームウェアの情報
 - ↳ ファクトリーリセット: ファクトリー設定に復元します。
- ▶ **GPS 情報**: GPS情報を見る
 - ↳ GPS初期化: GPSをリセット

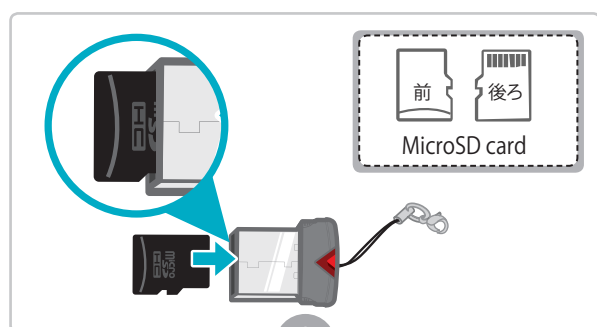
4. PCビューアーソフトウェア

4-1. シンクウェアダッシュカムPCビューアー

Windowsのシンクウェアダッシュカムビューアーは、ダッシュカムに記録されるビデオを閲覧するためのものです。ダッシュカムにより記録されるビデオファイルは、1分単位であり、PCビューアーは、ユーザーが1つの連続したビデオとしてこれらの単位を見ることができます。

シンクウェアダッシュカムPCビューアーのセットアップファイルは、パッケージの中のMicroSDカードに含まれています。最新ダッシュカムにPCビューアーアプリケーションについては、シンクウェアのホームページ (www.thinkware.com)をご覧ください。

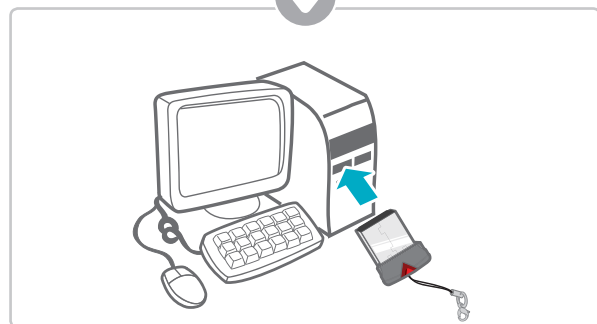
4-1-1. シンクウェアダッシュカムPCビューアーソフトウェア



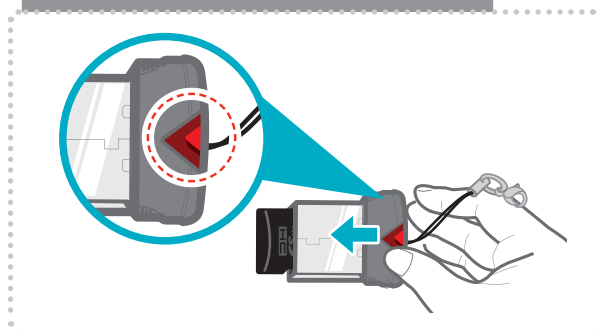
① 図に示してあるように、前側を表にしてUSB MicroSDカードリーダー（パッケージの中）にMicroSDカードを挿入します。

② PCにMicroSDカードリーダーを接続します。

USBドライブに挿入するとき、USBカードリーダーが正しい方向であることを確認してください。

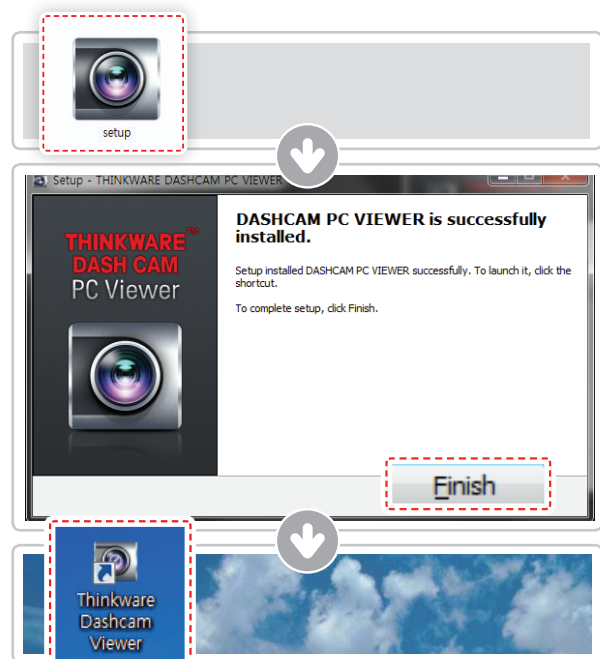


MicroSDカードを移動する > 取り外す



4-1-2. シンクウェアダッシュカムビューアーのインストール

Windows



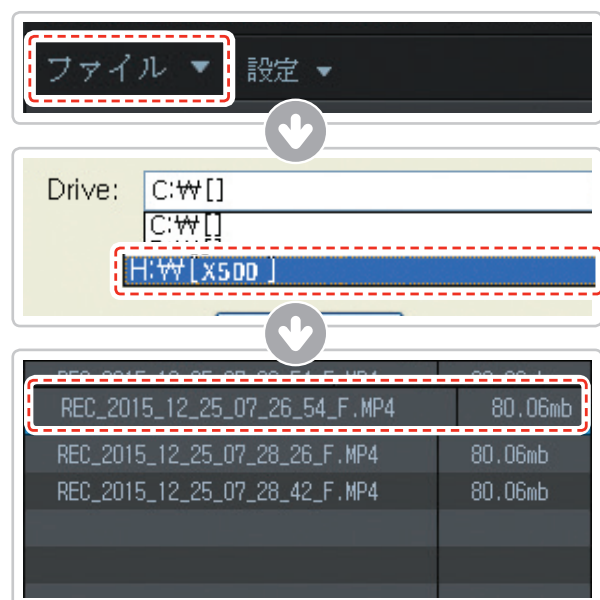
① プログラムのインストールを開始するため、MicroSDカードに保存されたシンクウェアダッシュカムビューアーセットアップをダブルクリックします。

② PCビューアーインストールが完了した後アプリケーションアイコンをダブルクリックすると、アプリケーションメイン画面が表示されます。

注意

- システム要件：
Windows XP (32 bit), Windows 7 (32 /64 bit),
Windows 8.x (32/64 bit)

4-1-3. X500のデバイスドライブを選択



① メニューから「ファイル」▼をクリックし、接続するMicroSDカード用のポータブルストレージドライブを選択します。

② メモリーカードのビデオプレイリスト全体をロードするため、リストからファイルを選択します。

注意

- MicroSDカードがドライブレコーダーで初期化されるまで、ソフトウェアでMicroSDカードが認識されません。
- シンクウェアダッシュカムPCビューアーにアクセスするまで、ダッシュカムとMicroSDカードのビデオクリップを少なくとも1つに保存することを推奨します。

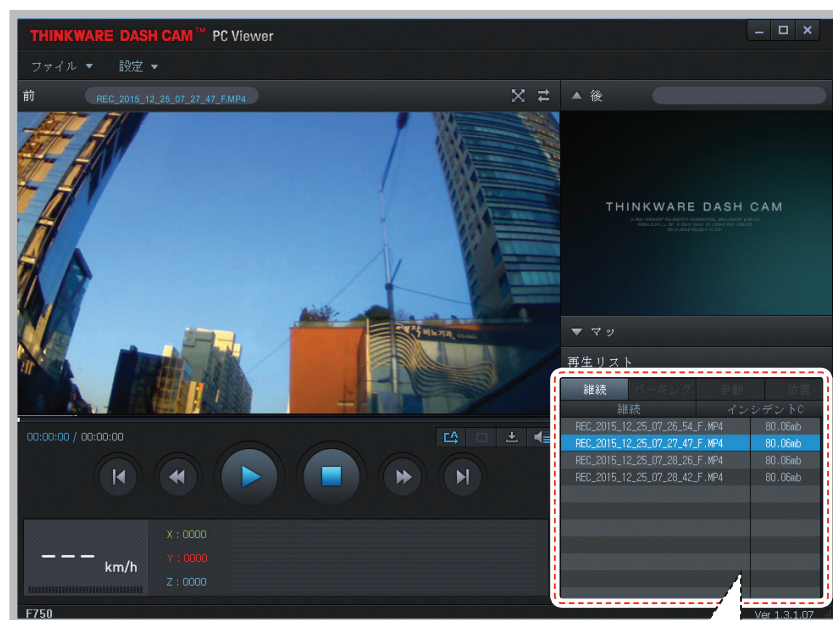
4-1-4. シンクウェアダッシュカムビューアの概要



No.	名前	説明
⏮	前の再生	現在のファイルのひとつ前のファイルを再生します。
⏪	10秒巻き戻し	再生されている現在のファイルを10秒巻き戻します。 (選択している場合、10秒まで続けて巻き戻します)
▶/⏸	再生/停止	記録したファイル/一時的に停止したファイルを再生します。
■	停止	再生しているファイルを停止します。再生ステータスは、ビデオの開始時点にリセットします。
⏩	10秒早送り	10秒まで再生されている現在のファイルを早送りします。 (選択している場合、10秒まで続けて早送りをします)
▶	次を再生	現在のファイルの次のファイルを再生します。
🔄	リピート再生	自動的に終了すると、最初に戻って自動的に再生を繰り返します。
📏	ズーム	ビデオ拡大比を設定します (0.5倍 / 1.0倍 / 1.5倍 / 2.0倍)
⚙	画面設定	明るさ/ビデオのスピードを設定します。
💾	保存	再生しているビデオを保存します。
🔊	ボリューム	再生のボリュームを設定します。

4-1-5. ビデオの再生リストを見る

- ▶ 各録画モードの再生リストを表示するために、適切なフォルダ (連続録画、インシデント録画、手動録画、パーキングモーション、パーキングインシデント) を選択します。



継続	パーキング	手動	位置
継続		インシデントC	
REC_2015_12_25_07_26_54_F.MP4			80.06mb
REC_2015_12_25_07_27_47_F.MP4			80.06mb
REC_2015_12_25_07_28_26_F.MP4			80.06mb
REC_2015_12_25_07_28_42_F.MP4			80.06mb

連続録画再生リスト

継続	パーキング	手動	位置
		ファイル名	ファイルサイズ
		MAN_2016_03_15_13_13_38_F.MP4	0.03mb

手動録画再生リスト

5. 仕様書

5-1. 仕様書

本製品の仕様書は、製品の改良のために事前の予告なく変更することがあります。

アイテム	スタンダード	注意
モデル	X500	
サイズ/重量	104.3 x 51.4 x 29.3mm / 109g 4.1 x 2.02 x 1.15 inches / 0.24lbs	
表示/パネル	2.7"LCD (320x240)	
容量	MicroSDカード(UHS-I)	16GB/32GB/64GB
録画モード	常時録画モード	1分単位で録画
	インシデント録画モード	
	手動録画モード	
	パーキング監視モード	オプションのバッテリー電源ケーブルと設置は、車両の電源がオフのとき、常時電源供給に必要とされます>なります
	自動録画	
カメラ	2.19 Megapixel, 1/2.9" CMOS	リアカメラについても同様
視野角	約 140° (対角線)	リアカメラについても同様
ビデオ	フルHD (1920 x 1080/H.264/拡張 MP4)	リアカメラについても同様
フレームレート	1 チャンネル (フロントビュー): 30 fpsまで	リアカメラについても同様
音声	PCM (パルスコードモジュレーション)	
加速度センサー	3軸加速度センサー (3D, ±3G)	調整衝撃感度 (5レベル) リアカメラ
リアカメラ	V-IN ポートのサポート	リアニューカメラ接続ポート
GPS	内臓GPS	
入力電力源	DC 12/24V	リアビューカメラ: DC 3.3V
現在の消費	2CH: 3.5W/1CH: 2.5W (平均)	完全に充電された超コンデンサー/ LCDのオフにおいて
補助動力装置	スーパーキャパシター	
警告音	内臓スピーカー	音声 (ブザー音) ガイダンス
操作/保管温度	-10°C から 60°C / -20°C から 70°C 14°F から 140°F / -4°F から 158°F	
接続インターフェース	1 x V-IN port (Micro USB)	